

平成 26 年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会
第 16 回デザイン分科会 第 8 回研究発表会

議 事 録

- 1 開催日：平成 26 年 11 月 13 日(木)、14 日(金)
- 2 会 場：デザイン分科会第 8 回研究発表会 <13 日>
長野県工業技術総合センター材料技術部門 4 階 大会議室
〒380-0928 長野県長野市若里 1 丁目 18-1 (TEL：026-226-2812)
：デザインマネージメントゲーム体験会 <14 日>
(同上)
- 3 主 催：産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会
独立行政法人 産業技術総合研究所
長野県工業技術総合センター
- 4 内 容：

【11 月 13 日(木)】

◆デザイン分科会 研究発表会

- 1) 受 付 (4 階 大会議室入口) 13:00～13:30
- 2) 開会・挨拶 13:30～13:40
デザイン分科会長 川本 誓文氏
産業技術連携推進会議ライフサイエンス部会 宮田なつき氏
長野県工業技術総合センター所長 横道 正和氏



川本会長 (大阪府)



宮田氏 (産総研)



横道氏 (長野県)

- 3) デザイン分科会内容
- ① 研究発表会 (研究及び開発支援事例 6 件) 13:40～15:20
・デザイン分野に係る研究や開発支援事例に関する有用な成果発表が行われました。

ア 京都企業におけるデザイン導入事例の調査研究

京都府中小企業技術センター

加悦 秀樹氏

イ 阿波藍産業へのデザイン支援

徳島県立工業技術センター

川人美洋子氏

ウ 岩槻人形の新商品開発支援について

一クールジャパンの芽の連携推進事業から Japan ブランドまで一

埼玉県産業技術総合センター

影山 和則氏

エ SNS と連携した新しいものづくりシステムの試行

(独)産業技術総合研究所

佐脇 政孝氏

オ 救急救命士用使用済み針回収容器の開発支援

長野県工業技術総合センター

北野 哲彦氏

カ 長野県地域資源製品開発支援センター事業における支援事例
— 一産官協調体制で喜ばれる商品・ブランド化を推進 —

長野県工業技術総合センター

五味 英紀氏



加悦氏 (京都府)



川人氏 (徳島県)



影山氏 (埼玉県)



佐脇氏 (産総研)



北野氏 (長野県)



五味氏 (長野県)

② ポスターセッション 15:25～15:50

- ・ 6機関からの発表があり、ポスターの前では、様々な意見交換やディスカッションをする姿が見られました。



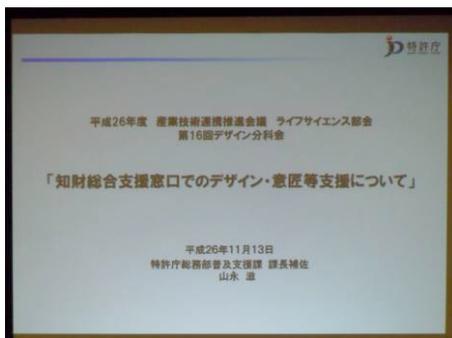
ポスター発表： 広島市、東京都、滋賀県、山口県、山梨県、長野県

③ ゲスト発表 15:50～16:10

「知財総合支援窓口でのデザイン・意匠等支援について」

特許庁総務部普及支援課 課長補佐 山永 滋 氏

- ・ 支援制度の詳細のご紹介とともに、多くの参考となる事例のご紹介もいただきました。連携を強めて、地域のデザイン振興・企業振興を図っていくことを確認しました。



④ 全体会議質疑応答 16:10～17:00

・ 4つの項目についてディスカッションや報告が行われました。概要、発言要旨は次のとおりです。

● デザイン分科会サイトについて

- ・ 川本会長がサイトをブラウザしながら状況を説明。以下は特に注意すべき点。
既存データの再入力については事務局にて対応中。来年の春にはお披露目予定。
メーリングリストでアクセスに必要な ID 等を伝える予定。

・ 質疑

Q コラボンへの入力についてはいかがか？ <産総研・宮田氏>

A ひな型があり、入力は特段難しいところはないと考える。 <川本会長>

● サポイン事業における特定基盤技術の見直しについて

- ・ 川本会長が会議資料「デザイン分科会に対する要望事項他（サポインのための特定基盤技術の見直しについて）」に沿い状況を説明。以下、コメント他。
- ・ <埼玉県・影山氏>会議資料 p.2 の公開については了解済み。埼玉県の資料は、担当者の見解（私見）であることを了解されたい。サポインでの成果は 25～30%程度しか世に出ていないと言われている。デザインでの効果を期待しているものと理解する。国が「デザイン」を分野対象としたことはデザイン担当者として評価したい。
- ・ <大阪府・川本会長>大阪府の資料を説明。長野県における地域資源製品開発支援センター事業について、出口戦力を伴ったものとされていることに感心した。
- ・ <長野県・宮嶋氏>当該資料最終ページ「(参考)経産省 HP」について説明。「デザイン」は技術なのかという疑問を持たれる場面もある。国が技術として定義してくれることは意義深い。この範疇の要素としてどのようなものが盛り込まれるのか興味深い。
- ・ <埼玉県・影山氏>国は説明会で「デザインが入る」ということを強調している。デザインが入ることは良いことだと聞こえる。
- ・ <産総研・佐脇氏>サポインの審査基準は、技術 4、事業化 3、政策 3 と言われている。デザインは技術面だけでなく、事業面でも評価を高められるのではないかと。現行の 11 技術分野は川下企業からの発想である。「デザイン」も川下からの発想であり、このことを大事にすべきではないかと考える。業務用厨房調理器具のニッチトップ企業は性能に加えデザインに力を入れていると聞く。
- ・ <川本会長>本資料の 2 次的使用は厳禁であることに注意されたい。

● 調査協力をお願い【北海道・印南氏】

- ・ 会議資料「各機関で活用しているデザイン活用支援ツールに関する調査へのご協力」に沿い説明。なお、デザイン活用支援ツールとは、ソフトウェアやグッズ等も含むとの追加説明があった。

● 次年度開催県挨拶 【京都府・加悦氏】【千葉県・岡村氏】

- ・ H27 春開催の京都府からは、H27 年 6 月 11、12 日に、会場は京都リサーチパークにて実施予定で、GK KYOTO の吉田治英様による講演会をはじめ、川島セルコン、島津製作所、ワコール等の見学候補など、計画概要の報告があった。秋開催の千葉県からは、時期、場所とも未定であるが、研究発表を活発に行いたい旨のお話あり。

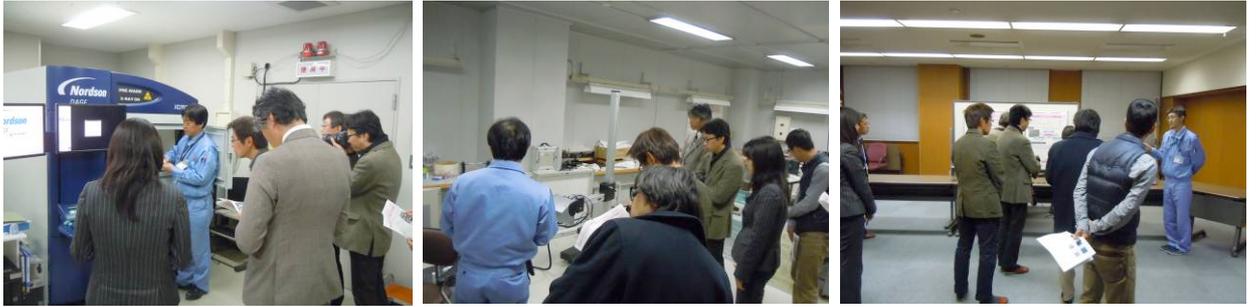


加悦氏（京都府）



岡村氏（千葉県）

4) 館内見学 17:00～17:30



見学： 高解像X線検査装置、3Dスキャナ、質感表現研究成果事例

5) 閉 会

◆意見交換会（交流会） 18:00～20:00

会場：大久保西の茶屋 駅前店 (026-228-7377)

長野県長野市南千歳 1-19-8 (JR 長野駅善光寺口徒歩 1分)

・長野県の珍味？もご堪能いただきながら、様々な意見交換が行われ、盛会となりました。

【11月14日(金)】

◆デザインマネジメントゲーム体験会（参加希望者のみ）

1) 受付（4階 大会議室入口） 9:00～10:00

2) 体験会 10:00～12:00

進行指導：

（地独）北海道立総合研究機構工業試験場 主 査 日高青志氏

〃 研究主査 万城目聡氏

〃 研究職員 印南小冬氏

・北海道の三名の指導者の多大なご支援により、大変有用かつ貴重な体験ができました。「どの市場を狙おうか」「商品開発力を高めなきゃ」「借金しようか？」・・・、時間が進むにつれゲームに引き込まれ、楽しみながらデザインマネジメントの重要性の気づきを得ることができました。



体験会の様子： 2名1チームの4チーム対抗戦を2グループで実施

3) 閉 会

(※当日午後開催の「信州ブランドフォーラム 2014」にも、多くの皆さまにご参加いただきました。)